

管理職と女性社員のためのワークショップ(全3回)



女性の活躍を実現するための取り組みを検討・実行するために他社の現状や課題を学び、経営者(管理職)と女性社員が共通認識を持ち、女性活躍推進を阻むアンコンシャスバイアス(無意識の偏見)の解消や女性のキャリアアップに対する意識醸成を図りながら、自社の課題解決と女性活躍の推進を目的に実施いたします。

期日
全3回
※全てにご参加をお願いします。

第1回

2024.
7/23(火)

第2回

2024.
10/29(火)

第3回

2025.
1/28(火)

会場 ※全3回共通

イヤタカ (秋田市中通 6-1-13)

参加定員 30名(15社×2名)

※1社から経営者または女性活躍推進に係る管理職と女性社員のお二人での参加をお願いいたします。

開催内容

第1回 【日時】 2024年7月23日(火) 13:30 ~ 16:00
【場所】 イヤタカ 2F 【参加費】 1,000円(茶菓子代)

内容

- | | |
|----------------------|---|
| 1. オリエンテーション(30分) | <ul style="list-style-type: none"> ●6/3セミナー振り返り ●ワークショップ開催の目的と流れ ●昨年参加企業の取組や成果を紹介 |
| 2. グループディスカッション(90分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理職と女性社員に分かれ、グループ編成(5人×6グループ) ●女性のキャリアアップに対する自社の現状 ●課題を話し合いながら自社に必要な取り組みを探る |
| 3. まとめと今後の流れ(30分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各グループのディスカッション内容を報告 ●今後の取組計画作成の流れとポイントを説明 |

【帰社後】受講内容を踏まえ、女性活躍を実現するための取組を各社で計画し、事前配布した「取組内容報告書」を当所へ提出していただきます。

第2回 【日時】 2024年10月29日(火) 13:30 ~ 16:00
【場所】 イヤタカ 3F、4F 【参加費】 1,000円(茶菓子代)

内容

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 取組発表(30分) | ●参加企業の取組内容発表 |
| 2. グループディスカッション(90分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取組内容を検討して気付いたことや新たな課題などを話し合う |
| 3. まとめ(30分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ディスカッションの内容報告 ●発表に対するアドバイス(改善点や今後の進め方など) |

【3回目開催前】事前配布した「取組内容(状況)報告書」を作成し当所へ提出

第3回 【日時】 2025年1月28日(火) 14:30 ~ 17:00
【場所】 イヤタカ 4F 【参加費】 8,000円(懇親会参加費)

内容

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 成果報告・質疑応答(90分) | ●参加企業から取り組みに対する成果報告を発表 |
| 2. アドバイス(60分) | <p>進行：ファシリテーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ●成果報告に対するアドバイス ●今後の取り組むべきことや事例紹介 |

17:00 ~ 参加者同士の交流継続を目的に懇親会を開催します

【参考】

2023年度ワークショップ参加企業の取組みと成果

昨年度のワークショップにおいて、参加企業が、女性活躍を実現するために自社の現状分析や課題を抽出し、取り組みを計画・実行しました。その取り組み内容と成果は次のとおりです。

取り組み	実施方法	取り組み成果
女性管理職との交流会	管理職から成長のコツや意識の変化、家庭との両立の仕方など、本音を交えて懇談	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアアップのロールモデルとしてイメージができるようになった。 ●仕事に対する意識が向上、管理職を知る良い機会となった。
経営者・役員との懇談会	女性社員が本音を話せる場として実施	●女性が管理職を目指すことが出来る職場環境の改善に向け、方向性を定めることができました。
女性社員のヒアリング調査	女性社員が警戒しないよう配慮し、個別に実施	<ul style="list-style-type: none"> ●社員の思いや考えを知り、時代に即した組織づくりに直結できる良い機会となった。 ●女性社員の生活ニーズに応じた新制度導入を検討することになった。
社内で働き方改善セミナー	外部講師により「仕事と家庭の両立」をテーマにグループワークを実施、社内報で実施報告	<ul style="list-style-type: none"> ●理想の職場環境や現状、自分たちが改善できることについて、課題や悩みを参加者同士で共有できた。 ●社内報告により、他の社員からも共感の声が寄せられた。
女性活躍推進チームを編成	管理職以外の男女職員7名で構成し、課題解決策を検討	<ul style="list-style-type: none"> ●女性の制服着用の自由化、掃除当番の廃止につなげることができた。 ●デスク回りの整理整頓策を検討し、新たに書棚を設置することで、業務効率の向上に繋がった。
女性社員の事務作業を軽減	トップダウンにより、社員の自己完結力の向上を目的に全社員を対象に実施	●女性と男性の業務負担の差が減った。男女問わず社員の業務遂行能力の向上に繋がった。